

平成28年度 学校基本調査
学校調査票(特別支援学校) (4-1)

—平成28年5月1日現在—

都道府県番号	学校調査番号
	4

特別支援学校 1

(様式第6号)
統計法に基づく基礎統計調査



1 学校の所在地	〒 (市区部) (町村) (番地)	2 (フリガナ) 学校名
	電話 () () ()	分校

所在地の市町村番号	3 設置者別	4 本校分校別	5 障害種別	校長氏名	取替者氏名
11 国立 21 都道府県立 22 市(区)立 23 町立 24 村立	1 本校 2 分校	1 本校 2 分校	視覚障害 聴覚障害 知的障害 肢体不自由 発達障害 その他		

- 本校と分校(正規の手続を完了したもの)は、別々に調査票を作成する。分校の調査票は、本校で取りまとめ、校長から提出する。なお、「5 障害種別」については、学校教育法第73条により当該学校が教育の対象とする全ての障害種別について「1」を記入する。
- 数字は、の中に一字ずつ、右側につめて記入する。
- 5月1日現在[※]部は設置されているが、在籍者がいない場合は、「17 通学状況別在学者数」の該当する部の「計」欄に「N」と記入する。
- 符号a~nは、調査票の各欄の欄符号と必ず一致しなければならない。
- 「計」欄のあるところは、必ず核算する。

6 教員数										7 職員数(本務者のみ)										8
本務者(体職者等を含む。)					兼務者(体職者等を除く。)					その他の者										特別支援学校の職員数
校長	副校長	主任	教頭	教員	校長	副校長	主任	教頭	教員	事務職員	技術職員	実習指導員	学級指導員	調理員	用務員	その他	計			

9 「6」の本務者のうち体職等教員数(再掲)			
校長	副校長	主任	教頭

10 「6」の本務者のうち教務主任等の数(再掲)									
校長	副校長	主任	教頭	教員	校長	副校長	主任	教頭	教員

11 「6」の本務者のうち指導主事等の数(再掲)	
指導主事	計

12 「6」及び「7」の本務者のうち産休代替教員数(再掲)									
産休代替教員	育児休代替教員	計							

13 「7」のうち審議会等任職員数	
審議会等任職員	計

14 学校医等の数			
学校医	学校歯科医師	学校薬剤師	計

21 担当障害種別教員数										
障害種別	本務者					兼務者				
	教諭	助教諭	講師	教諭	助教諭	講師				

16 「15」のうち外国人児童生徒数(再掲)	
部別	計

17 通学状況別在学者数					
寄宿舎	家庭(下書き)	児童福祉施設	国立療養所重心病棟	その他の医療機関	計

18 小学校、中学校、高等学校との転入・転出者数	
転入者	転出者

19 理由別長期欠席者数				
区分	病	経済的	不	計

21 「17」の高等部のうち本科の在学者数(再掲)					
寄宿舎	家庭(下書き)	児童福祉施設	国立療養所重心病棟	その他の医療機関	計

平成28年度 学校基本調査
学校調査票(特別支援学校) (4-2)

—平成28年5月1日現在—

都道府県番号	学校調査番号
	4

特別支援学校 2

統計法に基づく基幹統計調査



学校名	学校
	分校

報告者	校長	取扱者
氏名	氏名	氏名

学級区分	児童数計	障害種別 特別 支援 学級 別	障害種別 特別 支援 学級 別	訪問 教育 学級	学 年 別										年 齢 別				
					1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		5 学年		6 学年		6~11歳	12~14歳	15歳以上
					男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
7 0 1 0																			
7 0 2 0																			
7 0 3 0																			
7 0 4 0																			
7 0 5 0																			
7 0 6 0																			
7 0 7 0																			
7 0 8 0																			
7 0 9 0																			
7 1 0 0																			
7 1 1 0																			
7 1 2 0																			
7 1 3 0																			
7 1 4 0																			
7 1 5 0																			
7 1 6 0																			
7 1 7 0																			
7 1 8 0																			
7 1 9 0																			
7 2 0 0																			
7 2 1 0																			
7 2 2 0																			
7 2 3 0																			
7 2 4 0																			
7 2 5 0																			
7 2 6 0																			
7 2 7 0																			
7 2 8 0																			
7 2 9 0																			
7 3 0 0																			
児童数合計		d + e + f		d															

15 (1) 小学部の学級別在学者数(学級ごと)に一段ずつとって記入する。

- 本校と分校(正規の手続を完了したもの)は、別々に調査票を作成する。分校の調査票は、本校で取りまとめ、校長から提出する。
- 数字は、 の中に一字ずつ、右側につめて記入する。
- 「学級編制別」欄には、単式学級は「1」を、また複式学級は「2」を記入する。
- 「障害種別」欄には、当該学級が単一障害学級の場合には該当する欄に「1」を記入する。重複障害学級の場合には主たる障害の該当する欄に「1」を、併せ持つ障害の該当する欄に「2」を、それぞれ記入する。
- 「訪問教育学級」欄には、該当する学級に「1」を記入する。
- 「15」欄の記入方法は、平引の説明をよく読むこと。また、5月1日現在学級は設置されているが在籍者がいない学級がある場合は、「児童数計」及び「学年別」欄に と記入する。
- 符号d~fは、調査票の各欄の同符号と必ず一致しなければならない。
- 「計」欄があるところは、必ず換算をする。

学校調査票 (特別支援学校) (4-3)

—平成28年5月1日現在—

都道府県番号	学校調査番号
	4

特別支援学校 3

統計法に基づく基礎統計調査

秘

学校名	学校 分校	報告者 氏名	校長 氏名	取扱者 氏名
-----	----------	-----------	----------	-----------

学級区分	学年	障害種別				生徒数計		学年別						年齢別					
		知的障害	肢体障害	知的障害併肢体障害	その他	男	女	1学年		2学年		3学年		12~14歳		15歳以上			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
15																			
(2)	8010																		
	8020																		
	8030																		
	8040																		
	8050																		
	8060																		
	8070																		
	8080																		
	8090																		
	8100																		
	8110																		
	8120																		
	8130																		
	8140																		
	8150																		
	8160																		
	8170																		
	8180																		
	8190																		
	8200																		
生徒数合計		g+h=i				g		h											

学級区分	学年	障害種別				幼児数計		年齢別											
		知的障害	肢体障害	知的障害併肢体障害	その他	男	女	3歳		4歳		5歳							
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
15																			
(3)	6010																		
	6020																		
	6030																		
	6040																		
	6050																		
	6060																		
	6070																		
	6080																		
	6090																		
	6100																		
	6110																		
	6120																		
	6130																		
	6140																		
	6150																		
	6160																		
	6170																		
	6180																		
	6190																		
	6200																		
幼児数合計		a+b=c				a		b											

- 本校と分校（正規の手続を完了したもの。）は、別々に調査票を作成する。分校の調査票は、本校で取りまとめ、校長から提出する。
- 数字は、□□□□ の中に一字ずつ、右側につめて記入する。
- 「学級編制別」欄には、単式学級は「1」を、また複式学級は「2」を記入する。
- 「障害種別」欄には、当該学級が単一障害学級の場合には該当する欄に「1」を記入する。重複障害学級の場合には主たる障害の該当する欄に「1」を、併せ持つ障害の該当する欄に「2」を、それぞれ記入する。

- 「訪問教育学級」欄には、該当する学級に「1」を記入する。
- 「15」欄の記入方法は、手引の説明をよく読むこと。また、5月1日現在学級は設置されているが在籍者がいない学級がある場合は、幼稚部は「幼児数計」及び「年齢別」欄に、中学部は「生徒数計」及び「学年別」欄に「N」と記入する。
- 符号a~c及びg~iは、調査票の各欄の同符号と必ず一致しなければならない。
- 「計」欄があるところは、必ず検算をする。

平成28年度 学校基本調査
学校調査票 (特別支援学校) (4-4)

—平成28年5月1日現在—

都道府県番号	学校調査番号
	4

特別支援学校 4

統計法に基づく基幹統計調査



学校名	学校	報告者	校長	取扱者
	分校	者	氏名	氏名

15(4) 高等部の学級別在学者数 (学級ごとに一級ずつって記入する。) (つづき)

学級区分	学級編成別	障害種別	訪問教育学級	生徒数計		学 年 別						年 齢 別								
				男	女	1学年		2学年		3学年		15~17歳		18~20歳		21歳以上				
						男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
本 科	9010																			
	9020																			
	9030																			
	9040																			
	9050																			
	9060																			
	9070																			
	9080																			
	9090																			
	9100																			
	9110																			
	9120																			
専 攻 科	9410																			
	9420																			
	9430																			
	9440																			
別 科	9450																			
	9460																			
	9610																			
	9620																			
科	9630																			
	9640																			
生徒数合計																				

20 高等部の学科別在学者数及び入学者数

学科名	学科番号	在 学 者 数										本科の 入学者数 (再掲)								
		本 科		専 攻 科		別 科		計		男	女									
		男	女	男	女	男	女	男	女			計								
普通科	5010	1	0	0																
ト	5020																			
科	5030																			
科	5040																			
科	5050																			
科	5060																			
科	5070																			
科	5080																			
科	5090																			
科	5100																			
科	5110																			
計	5150	9	9	9	m	n								j	k	l				

- 本校と分校 (正規の手続を完了したもの。) は、別々に調査票を作成する。分校の調査票は、本校で取りまとめ、校長から提出する。
- 数字は、[] の中に一字ずつ、右側につめて記入する。
- 「15」の「学級編成別」欄には、単式学級は「1」を、また複式学級は「2」を記入する。
- 「15」の「障害種別」欄には、当該学級が単一障害学級の場合には該当する欄に「1」を記入する。重複障害学級の場合には主たる障害の該当する欄に「1」を、併せ持つ障害の該当する欄に「2」を、それぞれ記入する。
- 「訪問教育学級」欄には、該当する学級に「1」を記入する。
- 「15」欄の記入方法は、手引の説明をよく読むこと。また、5月1日現在学級は設置されているが在籍者がいない学級がある場合は、「生徒数計」及び「学年別」欄に [] と記入する。
- 「19」の「学科名」欄は、主として履修する科目のコースにより区分して記入する。
- 「19」欄の「本科の入学者数 (再掲)」は、学科別に「在学者数」の「本科」より大きくなることはない。
- 符号 j~n は、調査票の各欄の同符号と必ず一致しなければならない。
- 「計」欄があるところは、必ず検算をする。